

障害福祉関係ニュース

(障害福祉制度・施策関連情報)

2022(令和4)年度
6号(通算406号)
(令和4年8月31日発行)

本ニュースは、全社協 高年・障害福祉部に事務局をおく、セルフ協・身障協・全救協・厚生協・障連協の協議員・役員・構成団体、ならびに都道府県・指定都市社協に電子メールにてお送りしています。

[発行] 全国社会福祉協議会 高年・障害福祉部
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2
新霞が関ビル内
TEL:03-3581-6502 FAX:03-3581-2428
E-MAIL:z-shogai@shakyo.or.jp

◆◆◆ 今号の掲載内容 ◆◆◆

I. 障害福祉制度・施策関連情報

1. 【厚労省】社会保障審議会 生活困窮者自立支援及び生活保護部会（第17回、第18回、第19回）が開催される 1
2. 【内閣府】障害者政策委員会（第69回）が開催される 2
ー関連：国連・障害者権利委員会契約国審査の動き 2
3. 【厚労省】「社会福祉連携推進法人の設立状況（令和4年8月1日時点）」が公表される 3

II. その他の関連情報

1. 【厚労省】「共生社会フォーラム」を開催
～全国5か所、9月29日(木)・30日(金) 静岡市からスタート～ 4
 2. 【全社協】「福祉ビジョン21世紀セミナー」を開催～10月12日(水) 4
 3. 【全国セルフ協】「全国ナイスハートバザール2022 in ちば」を開催～9月16日(金)より 5
 4. 【厚労省】カスタマーハラスメント対策企業向け研修会を開催 5
 5. 【厚労省】令和4年度「『見える』安全活動コンクール」を実施 6
 6. 【大和証券福祉財団】2022年度(第29回)ボランティア活動助成を実施 6
 7. 【読売光と愛の事業団・読売新聞社】第20回読売福祉文化賞を実施 7
- 【書籍紹介】『福祉の職場のマナーガイドブック』（平成31年3月） 8

I. 障害福祉制度・施策関連情報

1. 【厚労省】社会保障審議会 生活困窮者自立支援及び生活保護部会（第17回、第18回、第19回）が開催される

社会保障審議会 生活困窮者自立支援及び生活保護部会（部会長：菊池馨実 早稲田大学法学大学院教授）は、第17回（7月29日）部会、第18回（8月10日）部会、第19回（8月24日）部会を開催しました。

本部会では、平成30年の生活困窮者自立支援法及び生活保護法改正の施行後5年の見直しの検討規定を踏まえ、議論が進められています。第17回部会では「就労支援のあり方」「家計改善支援等のあり方」「生活困窮者自立支援制度と生活保護制度の連携のあり方」について、第18回部会では「居住支援のあり方」「支援を担う体制づくり及び人材育成等」「生活保護業務の効果的・効率的実施及び不正受給対策」について議論が行われました。

また、第 19 回部会ではこれまでの主な意見の整理と、有識者や利用者によるヒアリングが行われました。「居住支援」に関する参考人ヒアリングでは、救護施設「こうせいみなと」の前島弘施設長より個別支援計画の取り組みについて報告されました。また、大西豊美委員（全国救護施設協議会会長）からは、大阪府内における救護施設を軸とした重層的支援のプラットフォーム構築の実践についての報告がありました。

当日の資料は、下記、厚生労働省ホームページをご確認ください。

【厚生労働省 HP】 https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-hosho_443308.html

2. 【内閣府】障害者政策委員会（第 69 回）が開催される

障害者政策委員会（委員長：石川 准 静岡県立大学国際関係学部教授）は、第 69 回（8月 1 日）委員会を開催しました。同委員会では、令和 5 年度からの「障害者基本計画（第 5 次）」策定の議論が進められています。第 69 回では、これまでの議論を踏まえた「基本方針改定案」が示され意見交換が行われました。

当日の資料は、下記、内閣府ホームページをご確認ください。

【内閣府 HP】 https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/seisaku_iinkai/k_68/index.html

一関連：国連・障害者権利委員会契約国審査の動き一

8 月下旬にはスイス・ジュネーブで、国連・障害者の権利に関する委員会による障害者権利条約締約国審査と、パラレルレポートを提出した障害者団体など市民社会組織のブリーフィング（委員会による聞き取り）が行われました。以下に関連資料の公表サイトを掲載します。

(1) 外務省

ホーム (<https://www.mofa.go.jp/mofaj/index.html>)

- > 外交政策 > 日本の安全保障と国際社会の平和と安定 > 人権・人道・難民 > 人権外交
- > V 分野別人権外交 > 障害者
- > 障害者の権利に関する条約 / 6 第 1 回政府報告

(2) 内閣府 障害者政策委員会

ホーム (<https://www.cao.go.jp/>)

- > 内閣府の政策 > 政策調整（旧 共生社会） > 障害者施策 > もっと詳しく
- > 総合的な推進 / 推進体制 / 障害者政策委員会 > 障害者政策委員会開催状況
- > 第 66 回 / 資料等 > 資料 6、資料 7

- 『障害者の権利に関する条約の実施状況に係る障害者政策委員会の見解』（英文 / 和文）（2022 年 4 月）

(3) 市民社会組織のパラレルレポート（独自の報告）例

■ 日本障害フォーラム（JDF）

ホーム (<https://www.normanet.ne.jp/~jdf/index.html>)

- > 関連資料 > 障害者権利条約関連資料
- > 【JDF パラレルレポート（総括所見用）】 / 【JDF パラレルレポート（事前質問事項用）】

■日本弁護士連合会（日弁連）

ホーム (<https://www.nichibenren.or.jp/index.html>)

- > 私たちの活動 > 日弁連の国際活動 > 国際人権ライブラリー
- > 国際人権文書（条約及び基準規則等） / 障害者の権利条約
- > 障害者の権利に関する条約（略称：障害者権利条約） / 報告書審査

3. 【厚生労働省】「社会福祉連携推進法人の設立状況（令和4年8月1日時点）」が公表される

令和4年4月1日より、社会福祉連携推進法人制度が開始されています。社会福祉連携推進法人とは、2以上の社会福祉法人等の法人が社員として参画し、その創意工夫による多様な取り組みを通じて地域福祉の充実、災害対応力の強化、福祉サービス事業に係る経営の効率化、人材の確保・育成などを推進する仕組みです。

厚生労働省は、「社会福祉連携推進法人の設立状況（令和4年8月1日時点）」を公表しました。8月1日時点で認定のあった法人は3法人です。

詳細は、下記、厚生労働省ホームページをご確認ください。

【厚生労働省 HP】 <https://www.mhlw.go.jp/content/12000000/000974876.pdf>

II. その他の関連情報

1. 【厚労省】「共生社会フォーラム」を開催

～全国5か所、9月29日(木)・30日(金)静岡市からスタート～

厚生労働省は、本年度も「共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業」を実施します(委託先:公益財団法人糸賀一雄記念財団)。

平成28年に発生した津久井やまゆり園の事件を踏まえ、障害福祉従事者や事業経営者等が改めて共生社会の理念等を学び、実践につなげることを目的とした研修と、広く一般の方がたに対する普及啓発のためのフォーラム(共生社会フォーラム)を開催する事業です。

「共生社会フォーラム ～福祉の思想に学び、実践し、語る人に～」は9月29日(木)・30日(金)の静岡市からスタートし、令和5年1月まで全国5か所で開かれる予定です。

(新型コロナウイルス感染症の予防、感染拡大防止に鑑み、プログラムの変更や開催中止の可能性あることをご承知おきください)

プログラム等は、下記URLより専用サイトをご確認ください。順次公開予定でウェブ申し込みが可能です。

■共生社会フォーラム			令和4年
1	in 静岡	静岡市	9月29日(木)・30日(金)
2	in 滋賀・全体フォーラム	彦根市	11月22日(火)・23日(水)
3	in 広島	広島市	12月5日(月)・6日(火)
4	in 福島	郡山市(予定)	12月19日(月)・20日(火)
			令和5年
5	in 佐賀	未定	1月27日(金)・28日(土)

【共生社会フォーラム HP】 <https://inclusive-society.net/>

2. 【全社協】「福祉ビジョン21世紀セミナー」を開催～10月12日(水)

全国社会福祉協議会は10月12日、対面(全社協灘尾ホール、千代田区霞が関)とオンライン(ライブ配信のみ)で「福祉ビジョン21世紀セミナー」を開催します。「複雑・多様化する社会に応える ～社会福祉法人・社会福祉協議会は生き残れるのか～」を講演とシンポジウムで考える半日セミナーです。

お申し込みは9月23日(金)まで専用ウェブサイトでお受けします。

会場・オンラインとも手話通訳があります。専用サイトの申込時にご登録ください。

【開催要項】 <https://www.shakyo.or.jp/seminar/220822vision21th.pdf>

【セミナー専用サイト】 <https://www.mwt-mice.com/events/fukushi221012>

3. 【全国セルプ協】「全国ナイスハートバザール 2022 in ちば」を開催 ～9月16日(金)より

令和4年9月16日～9月20日の5日間、イオンモール幕張新都心・グランドコート(千葉県)にて、「全国ナイスハートバザール 2022 in ちば」が開催されます。

全国ナイスハートバザールは、全国セルプ協と都道府県社会就労センター協議会等が協力し毎年開催する販売会で、全国の障害者就労支援事業所で生産・製造された商品を展示・販売し、販路の拡大・障害者の工賃向上を図るとともに、広く国民の理解を深めていただき、障害のある方々の社会参加を促進することを目的としています。

お近くの方はぜひご参加ください。

「全国ナイスハートバザール 2022 in ちば」開催概要

(1)開催日程

令和4年9月16日～20日(販売時間:10:00～18:00)

(2)開催場所

イオンモール幕張新都心・グランドコート(千葉県千葉市美浜区豊砂1-1)

(3)参加料

無料

(4)主催

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 全国社会就労センター協議会
認定特定非営利活動法人 日本セルプセンター
社会福祉法人 千葉県社会福祉協議会
千葉県社会就労センター協議会(実施主体)

4. 【厚労省】カスタマーハラスメント対策企業向け研修会を開催

厚生労働省では、近年、社会的課題となっている「顧客等からの著しい迷惑行為」いわゆるカスタマーハラスメントを防止するため、令和4年2月に「カスタマーハラスメント対策企業マニュアル」をとりまとめました。本マニュアルを活用して、全国8都市の会場にて8回、Zoomオンラインにて2回、計10回「カスタマーハラスメント対策企業向け研修会」が実施されます。(すでに受付を終了した会場もあります。)

詳細は、下記、厚生労働省ホームページをご確認ください。

【カスタマーハラスメント対策企業向け研修会 HP】

<https://public.lec-jp.com/customerHarassment/>

5. 【厚生労働省】令和4年度「『見える』安全活動コンクール」を実施

厚生労働省は、労働災害防止に向けた事業場等の取り組み事例を募集・公開し、国民からの投票等により優良事例を選ぶ令和4年度「『見える』安全活動コンクール」を実施しています。

応募事例はホームページに掲載され、投票の結果等に基づいて優良事例が決定されます。

なお、「見える化」の取り組み事例は次の9つの類型で募集しています。

(応募締切：9月30日)

《募集類型》

- I. 転倒災害及び腰痛を防ぐための「見える化」
- II. 高齢労働者の特性等に配慮した労働災害防止の「見える化」
- III. ナッジを活用した「見える化」
- IV. 外国人労働者、非正規雇用労働者の労働災害を防止するための「見える化」
- V. 熱中症を予防するための「見える化」
- VI. メンタルヘルス不調を予防するための「見える化」
- VII. 化学物質による危険有害性の「見える化」
- VIII. 通勤、仕事中の健康づくりや運動の「見える化」
- IX. その他の危険有害性情報の「見える化」

詳細は、下記 URL よりホームページをご確認ください。

【あんぜんプロジェクト HP】 <https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/concour/index.html>

6. 【大和証券福祉財団】「2022年度（第29回）ボランティア活動助成」を実施

大和証券福祉財団は、誰もがいつでもボランティア活動に参加できるよう環境整備を図ることで福祉の向上に資することを目的とし、高齢者・障がい児者・子ども等への支援活動、並びに大規模自然災害による被災者への支援活動に対する、助成事業を行っています。

(応募締切：9月15日)

《募集活動》

- 高齢者、障がい児者、子どもへの支援活動及びその他、社会的意義の高いボランティア活動
- 地震・豪雨等による大規模自然災害の被災者支援活動

詳細は、下記 URL よりホームページをご確認ください。

【大和証券福祉財団 HP】 <https://www.daiwa-grp.jp/dsf/grant/>

7. 【読売光と愛の事業団・読売新聞社】第20回読売福祉文化賞を実施

読売光と愛の事業団、読売新聞社は、社会福祉の各分野で21世紀を切り開く創造的な業績をあげ、障害者や高齢者の暮らしやすい環境づくり、自立支援、社会参加の推進や、困難な状況にある子どもたちの支援などに貢献している団体、個人を励まし、豊かな福祉社会づくりを支援する事業を行っています。(応募締切：9月30日)

《活動例》

- 障害者の就労や自立を支援
- 障害者と健常者が共に参加する芸術活動
- 障害を持つ子どもたちの支援
- 障害者のスポーツ活動支援
- 難民の生活や学習の支援活動
- 大規模災害で被災した障害者・高齢者の支援活動
- 高齢者による地域社会への貢献や福祉活動
- 高齢者の日常生活のサポートや社会参加を促進

詳細は、下記 URL よりホームページをご確認ください。

【読売光と愛の事業団 HP】 <https://www.yomiuri-hikari.or.jp/report/20-1.html>

【書籍紹介】『福祉の職場のマナーガイドブック』（平成31年3月）

- 著者：立石貴子（山梨学院大学経営学部教授）
- A4判・84頁
- 定価：1,100円／税込
- 全国社会福祉協議会 出版部 発行

福祉の仕事は、利用者の尊厳を守り、心身ともに健やかに自立した生活を営むことを支援する対人援助の仕事です。専門的な知識や技術とともに、マナーを身につけたサービスを提供することも重要です。利用者と福祉サービス従事者は「対等」の関係であり、マナーは両者の関係を築く第一歩です。

著者は、ホテルの開業準備や社内スタッフ研修担当部長等のキャリアがあり、「福祉の仕事は人と人とのコミュニケーションを必要とした仕事。新たに仕事に就いた方に長く仕事を続けてほしい」と語っています。

新社会人のほか、初めて福祉の仕事に就いた方がたの基本的マナーの学び、皆さま方一人ひとりの振り返りに役立つ一冊です。

1 プロローグ

働く意義を考える／職場には独自のルールがある／ハウ・レン・ソウと指示の受け方

2 マナーの基本

マナーとは／接遇と接客／第一印象の重要性

3 言葉遣い

職場での言葉遣い／気遣いを表す表現（肯定表現、依頼表現、クッション言葉）

4 来客対応

5 電話対応

6 電子メールとファクシミリの基本

7 クレームや問い合わせの対応

クレーム、苦情が起こる要因／まずすべき行動

【全国社会福祉協議会 福祉の本の出版目録】

<https://www.fukushinohon.gr.jp/book/b10001743.html>

